

アナログオーディオ&ゆとりライフマガジン

平成30年10月20日発行(年4回刊) 第15巻第1号通巻61号 ISSN1349-595X

季刊・アナログ

2018  
AUTUMN  
vol.61



# analog

終わりなき「こだわり」を追求

特別インタビュー

**小室等**

連続企画  
**注目カートリッジの「素顔」**

## トーンアームを知る



ピットインインタビュー

**ケイコ・リーさん**

〈前編〉

アナログ好きのための  
**「振動対策」**

群を抜くコストパフォーマンス

# elipson OMEGA 100 series

お手頃な振動対策アイテムで  
グレードアップ！

Text by

炭山アキラ

Akira Sumiyama

Photo by 田代法生



elipson  
**OMEGA 100 Carbon**

アナログプレーヤー  
¥98,000(税別)

# お手頃価格のスタビライザーを試す

ステンレス がっしり締まった元気ある音に



NAGAOKA  
STB-SU01

●材質：ステンレス材 ●サイズ：Φ74  
×22Hmm ●質量：約600g ●取り扱い：

(株)ナガオカトレーディング

¥OPEN(直販価格 ¥10,000 / 税別)



4



2



1



3

1 まずはOMEGAシリーズ3機種をアクセサリーを加えずに聴き、その性能をチェック

2 ナガオカのスタビライザーは表裏逆に使った方がOMEGAシリーズと相性が良いようだ

3 ティックのターンテーブルシートは和紙のテクスチャが見える方を下に使う方が良い結果が出た

4 ターンテーブルシート、スタビライザーは、OMEGA 100 Carbonでテストしたが、OMEGA 100でも最後に試し、同傾向の効果があることを確認

## ■スタビライザーを試す 上から安定性を与える グレードアップ

それでは、BR-12をそのままに、スタビライザーをいろいろと取り替えて音の違いを聴いてみよう。

前述のBR-12インプレッ

T618aによるものだが、お

次はナガオカのステンレス製STB-SU01を聴いてみよう。音像がガツシリと締まり、

音楽が生き生きと粒立つてスピーカーから飛び跳ねて出てくる

ような質感だ。この金額でこの音は、破格というべきであろう。

アナログアクセサリーに新星現る！ という感じだ。

RS-1を用意してもらつた。砲金製で薄型だがズシリと重く、いぶし銀風の仕上げが実に格好良い。盤と当たる部分は面ではなく円周状で、盤のエネルギーを吸収しそうないように、という配慮だろう。絶対的な重量がやや軽めのせいもあるが、とにかく音が生き生きと飛ぶことにかけて、これは本物だ。おそらく前述の円周状に仕上げた接触面も効いているのだろう。何とも魅力的な音の持ち主である。

最後に、ここまで試聴で結果が良かつたオヤイデBR-12とナガオカSTB-SU01をカーボンではないOMEGA 100にも用い、音を聴いてみると、うん、こちらでもほぼ同様の音質向上をはつきりと聴くことができた。もちろん絶対的にはカーボンの方が音の品位は何枚か上手だが、変化の傾向はOMEGAシリーズと共に通じる。音像がガツシリと締まり、音楽が生き生きと粒立つてスピーカーから飛び跳ねて出てくる

ような質感だ。この金額でこの音は、破格というべきであろう。アナログアクセサリーに新星現る！ という感じだ。

今回廉価なアクセサリーで遊んだが、これだけ音が変われば上出来だ。また、元々が実力十分の超ハイCP機だけに、アクセサリーの効き目が一層確かに伝わったといえる。ぜひ皆さんも試して欲しい。